



# 1年学年だより

発行日：令和3年10月29日（金）

発行者：横浜市立南高等学校附属中学校

校長：遠藤 広樹 NO. 6

## 学問(研究)のすゝめ

校長代理 冨樫 哲一

10月18日（月）には、3学年の生徒、保護者の皆さんを対象とした「南高等学校への進学に関する説明会」を開催いたしました。来年度に南高等学校へ入学する意思を改めて確認するに当たり、南高等学校の教員から「進路指導」「教育内容」「『EGG』から『TRY&ACT』へ」等についての説明がありました。

進学を控えた3年生の皆さんは時折メモをとりながら話を聴くなど、いつにもまして真剣な様子が見られました。「進学に関する説明会」の後には、「単位を落としたら卒業できないことを改めて言われたので勉強を頑張ろうと思った」のような、中学校と高校との違いへの戸惑いを感じたものや、「英語の自学がすごい大事なんだと思った。遠い感じだった高校が少し近くなった」のように、高校のことが少し分かって安心した様子を感じられるものなど、3年生の皆さんの様々な感想が寄せられました。改めて中高一貫教育校として、生徒・保護者の皆さんには3年生に限らず、折に触れて南高等学校のことについて情報を発信する必要があると感じております。

また、「進学に関する説明会」の中で、南高等学校の大学進学状況についての説明がありました。生徒の皆さんは、国公立大学や有名私立大学に進学した先輩たちの実績に、将来の自分を重ね合わせたのではないのでしょうか。そこで今回はちょっと先の話になってしまいますが、大学のことについて少し話をしようと思います。

突然ですが、皆さんは大学は何をすところだと思いますか。「勉強をすところ」という答えが多いかと思います。私は「学問(研究)をすところ」だと思っています。大学は確かに勉強するすところはありますが、「学問(研究)」をすために「勉強」をすのです。

大学での「勉強」は小学校、中学校及び高等学校の「勉強」とは違います。高等学校までの「勉強」は国が定めた学習指導要領によって学習する内容等があらかじめ決まっております、学校によって大きな差は生じないようになっています。しかし、大学では、世の中の多様な価値観の中から「何のために生きるか」、「これからどのように生きるか」等の問いに対する答えを見つけ出すという「学問(研究)」を行うために「勉強」をします。当然のことですが、人によって、研究する問い(テーマ)はそれぞれ違うので、しなければならない「勉強」の内容もひとそれぞれになります。

さて、先ほど「人によって研究する問い(テーマ)はそれぞれ違うので」とさらっと述べましたが、研究テーマについては、私はかなり自分自身に対して落胆した思い出があります。私は7年前、政策研究大学院大学という大学院に横浜市から派遣され、1年間だけですが学生をしていました。大学の授業は、「統計学」「経済学」「政策立案」等の私の専門外のことが多かったのですが、自分の知らないことを知ることができて、「勉強」すること自体は実はとても楽しかったのです。

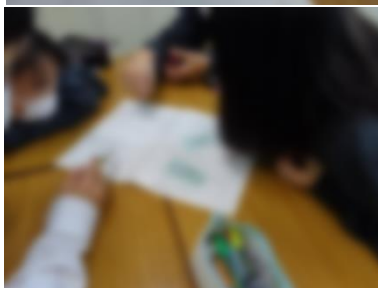
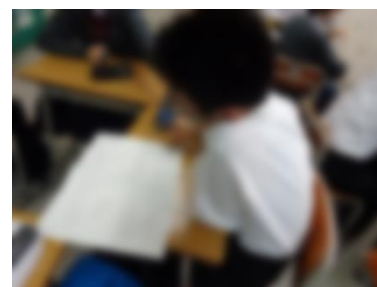
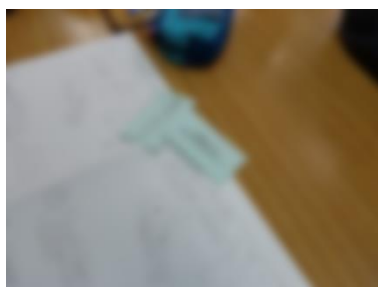
しかし、大学院修了に当たり修士論文をかくために「研究」をしなければならない時期になると、とにかく苦しみました。研究する問い(テーマ)が見つからないのです。そのとき私は初めて自分が「研究」するために「勉強」していたのではなく、「勉強」するために「勉強」していたことに気付きました。

ですが、皆さん安心してください。現在の学習指導要領では、中学校では「総合的な学習の時間」高等学校では「総合的な探究の時間」という時間があり、大学での研究活動への準備もしっかりと行われています。特に、南高等学校附属中学校と南高等学校の『EGG』と『TRY&ACT』は他の学校に決して負けない素晴らしいものだと自負しています。

皆さんならば私のようにテーマ探しに悩むことなく、学問(研究)をすことができるはずですよ！

# 防災教育～もしこの時、地震が起きたら？～

毎年9月1日は防災の日。例年は夏休み明けに防災訓練が行われます。今年度は分散登校のため、夏休み明けの実施が叶いませんでした。それを踏まえ、10月に防災教育の一環として、学校にいる時間帯の中のような状況において大規模地震が発生した場合を想定した避難経路について確認し、防災意識を高める活動を行いました。



1組

学校で被災した時のことはあまり考えていなかったもので、改めて考えさせられる機会になりました。階段が使えないなどさまざまな状況に臨機応変に対応することも必要だということ学びました。まったく知らなかった非常口もあって、とてもおどろきました。3階から6階にかけては行くことが少ないけれど、念のため地図で避難経路を確認しておきたいと思いました。

2組

私はこの学習で、避難経路を考えるのはやはり難しいなと思いました。例えば「西階段から行こう」と思っても、食堂がある。「東階段だ」と思っても、食物教室がある。というように、1歩進んでは1歩止まっただけの繰り返しなのですが、いつかは正解にたどり着くのです。なので、避難の時には、パニックでも、いかに頭の中で迅速に考え、たどり着くかが重要になってくるのだと思います。

3組

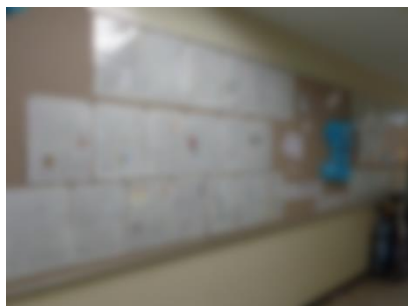
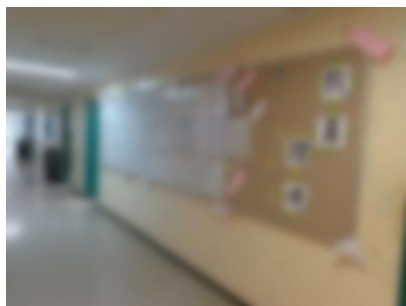
自分がまだ知らないような、非常口や避難のしかたを見つけることができた。色々な場合を予想して避難をシミュレーションしておくことで、実際に起こったときでも焦らず冷静に判断していくことができるのではないかと考えた。

4組

今までは4組の避難経路だけ覚えていたけれど、災害がどこで起きても逃げられるようにいろんな場所の非常口を調べていきたいと思う。また、その場の状況に応じて一番速く逃げられるように、冷静な判断力を身につけたいと思った。

## 後期 EGG スタート！

9月までの総合的な学習の時間（EGG）では、クラステーマを基にして個人テーマを決定し、個人新聞の作成を行いました。南高祭は残念ながら中止となってしまいましたが、クラスごとの掲示板の装飾も完成に近づいています。10月からは後期の EGG の活動として、個人新聞の中からより詳しくテーマを設定し、グループに分かれて実践活動を行います。



### 【姫のひとりごと】

早いもので、1年生も折り返し地点に来ました。先日の学活では、学級委員が中心になって、これまでの学校生活を振り返り「メリハリをつけて行動するにはどうすればよいか」をみんなで話し合いました。「時間を意識する。元気にあいさつをする。人の話をしっかり聞く。」など、対策が出されましたが、大切なことは「気づくこと。意識すること」だと思います。

11月9日（火）には、連絡票が配付されます。評定の数値のみに目を向けるのではなく、自分の課題を発見し、今後の取り組みに生かす道標にしていきましょう。

### ○3年生対象 令和3年度 全国学力・学習状況調査の結果

3年生を対象として5月27日（木）に実施された令和3年度全国学力・学習状況調査の結果をお知らせします。各教科の調査問題は国立教育政策研究所のホームページからダウンロードすることができます。

	「国語」の平均正答率（%）	「数学」の平均正答率（%）
本 校	88.6	85.6
全国（公立）	64.6	57.2